

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社 O S G コーポレーション
代表者名	山田 啓輔
所在地	福岡市博多区上呉服町 14-27 OSG 第 3 ビル
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) -
業種	卸売業、小売業
電話番号	代表 06-6357-0101
ホームページ	https://www.osg-nandemonet.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	4つの W を力強く広め、実行して参ります。 ①水 (Water) にこだわる 水関連、機能水、宅配水、「食材としての水」を深堀、かつ事業領域を拡大する ②世界 (World) に向けて アジア基盤を固め世界へ ③感動 (Wonder) 私達の製品・サービスで暮らしや社会・感動・地球環境の喜びに貢献する ④健康 (Well-Being) インナーから実践できており、関わりあう全ての人がウェルビーイングを感じる		
アンケート実施	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：株式会社OSGコーポレーション

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環 境	社会	経 済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン		SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進している。						○	○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・在宅勤務規定、育児介護休業規定にて策定。 ・テレワーク、フレックスタイム、時差出勤が社内浸透しており、全社で周知されているため必要になった社員は適宜申請されている状況。					○	○	○										
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・ハラスメント防止規定、会社方針、労使協定の締結 ・相談窓口の設置及び社内周知					○	○	○								○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・振休、年次有給休暇の取得促進実施。 ・労働時間の超過前の自動メールアラートあり。 ・メンタルヘルスケアガイドライン、産業医と定期会議実施。 ・ストレスチェックの定期実施(本社・年1回)、社内報「健康通信」のポータルアップ		○	○	○													
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・リスキリングサポートの実施(管理系:ITパスポート取得、営業:健康マスター検定の受講) ・インターンシップ受け入れ			○	○		○	○										
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・従業員・取引先へのマイボトルの利用を推進している。			○		○			○	○	○							
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○		・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。 ・社員に公共交通機関による移動を呼び掛けている。					○			○		○	○						
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○		・海洋プラスチックごみ削減のため河川・海岸の清掃、教育機関での探求授業など、生物多様性の保全に関する環境学習やイベント等を支援・実施している。					○				○	○	○	○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけや節水に努めている。							○										
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・製品・サービスの品質向上のため、コンシューマーセンターの設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を確認、社内周知している。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○		・「ステハジ」プロジェクトを通じ、「ペットボトル50億本削減チャレンジ」「みんなで広げる給水スポット」チャレンジに全社員で取り組み実施。 ・小中学校、高校への出前授業(探求授業)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・管理責任者の設置、特定個人情報取扱規定の策定及び従業員への周知・定期教育の実施。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。															○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・コンプライアンス規定の策定、コンプライアンス委員会の設置。 ・法令遵守が確実に行われるよう、内部統制委員会を設置、仕組み・ルールを整備している。															○		
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○			・全国拠点長会議(月1)、毎週月曜朝礼にて理念の唱和、及び理念カード、経営目標が記載されたオリジナル手帳の全社員配布と周知。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、共有している。									○	○						○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○		・経営リスクマネージメント規定の策定 ・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。										○	○	○	○	○	○		